平成28年11月18日

柏市健康福祉審議会
市立病院事業検討専門分科会
会長 寺本 妙子 様

柏市健康福祉審議会
市立病院事業検討専門分科会
委員 伊関 友伸

意見書

第4回市立病院事業検討専門分科会の議事について、次のとおり意見を申し述べる。

1 市立柏病院の経営状況

柏市医療公社は、200床の病床規模に対し多くの医師を雇用していること、病院経営が厳しい状況の中で健全な運営を行っていることは評価できる。

さらに、他の自治体病院と比較して税金の投入が少なく、赤字補填がされていない中での良好な運営も特徴である。

入院収益の向上は経営強化のため必要であり、現状の医師数の増加による医療の充実、救急の受入れ強化や、紹介・逆紹介の地域連携の取組みを推進して、病床利用率の向上を図られたい。

2 施設の現状と課題

柏市の医療課題への対応と、患者の受療環境の充実、医療従事者の勤務環境の充実のためにも、老朽化した施設を早く建て替えるべきである。その際は、ローコストによる建替えを十分に検討すべきである。また、震災時に建物と配管等の設備が機能するよう、免震機能を備えるべきである。

3 市民アンケート

今後、後期高齢者の急増が予想され、適切な医療を提供しつつ、医療費をできるだけ抑制していくことが課題となっている。公立病院がある自治体は医療費が低い傾向があり、柏市が公立病院を保持することは重要である。

公立病院の役割に対する相応の税金投入は、市民の理解を得られている。税金の投入をより少なくするため、経営の一層の効率化を期待する。

審議会で議論される役割は当然担うとしても、受け入れにくい患者の受皿としての役割も期待したい。

4 千葉県地域医療構想

高齢者の救急搬送件数は急激に増加していくため、医師数を増加させ、受け入れ能力を向上されたい。病床のありかたについては、現状の急性期医療の充実を図り、急増する高齢者の医療ニーズに対応することを期待したい。

また、地域包括ケア病床を活用し、介護施設、訪問看護と連携しながら、公立病院として地域包括ケアシステムの構築に貢献することを期待する。

5 早急な病院建替え先の決定

大学医局の医師引上げのリスクがある以上、できるだけ早急に病院の建替え場所の方向性を決定し、内容・時期等の計画を決定し、医師招聘対策に取り組むことが必要である。